

dejima

出島

郵政ユニオン差別を許さない支援共闘会議

(略称：ユニオン支援共闘会議)

会報「dejima=出島」、

■連絡先：長崎市恵美須町 2-5 サンロイヤルⅢ202、

☎&FAX 095-828-1953、

Eメール webadmin@yuseiunionkyusyu.jp

ホームページ <http://www.yuseiunionkyusyu.jp/> (郵政労働者ユニオン九地本)

NO2 2011年2月18日

郵政ユニオン支援共闘会議設立

全国の仲間の皆さん！

郵政ユニオン差別を許さない支援共闘会議がスタートしました。2月16日の設立総会には約40名の賛同人が参加し、別記の会則、議案による組織と運動を承認し、闘いが始まりました。

会の立ち上げは、おりから経営問題を口実とした非正規雇用労働者の解雇がマスコミに流される緊迫した状況下に、これと真っ向から闘い抜く決意であることを広く示すものとなりました。



設立総会開会にあたり川瀬幹事が会の趣旨と立ち上げの言葉を述べ、総会議長に深浦幹事を選任しました。まず呼びかけ人を代表して小杉副会長が会の経過と参集へのお礼を述べられました。

来賓あいさつでは、長崎地区労前書記長の中島照次さんが、郵政ユニオン(旧郵崎労)のころからの経過も含め思いを述べられたのち、「地域共闘の仲間として今後も一緒に闘っていききたい気持ちで、松江県労委闘争の補佐人を引き受けた。ともに闘いたい」と挨拶

をされました。

次にメッセージ紹介、当該の郵政労働者ユニオン九州地方本部の山本委員長のお礼の言葉が続きました。向井事務局長(ユニオン)が議案を、また大石幹事(ユニオン)が会則を提案し、幾人かの質疑を経て、役員、議案、会則が承認されました。

その後、選出された役員が演壇に並び、それぞれ決意表明し、闘いの勝利を目指しました。会長を担う井原東洋一長崎市議(長崎県被爆者手帳友の会代表)は、自らの全九電という少数労組の体験も踏まえ、「真実は少数派にある」とユニオンと支援共闘会議を激励されました。

次に不当配転を闘う当該の松江支部長が決意表明を行い、「不当な会社とは最後まで闘い、自分の配転取り消しと、差別不登用を許さない覚悟である」と闘いの表明を行いました。

最後に、深浦議長が会の初仕事として、JAL支援共闘会議への団体参加を訴えられ、決議されました。さらに閉会挨拶として荒木幹事(新社会党県本部書記長)が会のスタートと闘いの勝利を訴えて、総会は終了しました。

支援共闘会議設立総会是这样して発足し、具体的な運動をスタートさせました。2月16日現在の会への賛同人・会員は104名で、賛同団体組織は34団体(裏)となっています。会としては、今後も、引き続き会への加入を要請していきます。(以上、総会報告)



決意表明の松江さん

JAL解雇撤回国民共闘 長崎の会(仮称)発足へ

日本航空（JAL）は昨年12月31日、202名の労働者の解雇を強行しました。会社更生法下の人員整理的な希望退職数を超える応募があったにも関わらず、会社は50歳代の労働者を指名解雇したのです。赤字再建策とは全く無関係の「首切りリストラ」でした。解雇者はこうしたことから闘いを決意し、「整理解雇4用件を満たさない不当解雇」であるとして、196の方が解雇無効の訴えを東京地裁に起こし、全国的にこの闘いを支援する「国民共闘会議」が設立されました。

今回長崎のユニオン差別を許さない支援共闘会議設立総会の中で、事務局から訴えがあり、現場で16の方がJAL支援に賛同され、仮称、「支援長崎の会」が準備されました。今後、会への加入手続きなどを経て、運動が始まります。



交通事故を理由とする 雇止め無効の高裁判決

2月17日、広島高裁は郵便事業会社岡山支店に非正規社員として働いていた萩原和也さん（郵政ユニオン岡山）の交通事故などによる08年2月の雇止め解雇は、解雇権の乱用で無効であるという画期的な判決を勝ち取り、逆転勝利しました。（詳しくは郵政非正規センターのHPを参照ください）。

これは、1月の広島県労委の淀谷ユニオン安芸府中支部書記長不当配転取り消し命令、さらには一円欠損事案の停職処分（ユニオン兵庫）の神戸地裁での処分取り消し「和解」と続く、郵政の不当性を裁判所などが認定する大きな成果です。松江県労委も続くぞ。

- 支援共闘会議の口座番号が決まりました。
3月1日ころから使えます。しばらくお待ちください。
名称：ユニオン差別を許さない支援共闘会議
番号：01730—5—141159 です。
会費納入の方はご利用ください。

支援共闘会議団体加盟	
1	全国労働組合連絡協議会（全労協）
2	郵政労働者ユニオン中央本部
3	新社会党長崎県本部
4	全九電同友会
5	長崎全労協
6	郵政シルバーユニオン
7	鉄建公団訴訟長崎原告団
8	鉄建公団訴訟長崎原告団を支える会
9	1047名の解雇撤回長崎国鉄共闘会議
10	ピースサイクル全国ネットワーク
11	ピースサイクル三多摩ネットワーク
12	ピースサイクル埼玉ネットワーク
13	ピースサイクル大阪ネットワーク
14	ピースサイクル長崎ネットワーク
15	ピースサイクル大分ネットワーク
16	月刊誌「地域と労働運動」
17	丹羽争議を支える会
18	スクラムユニオン広島
19	働く者の労働相談室・ひろしま
20	郵政労働者ユニオン中国地方本部
21	郵政労働者ユニオン広島中央支部
22	郵政労働者ユニオン広島東支部
23	郵政労働者ユニオン安芸府中支部
24	郵政労働者ユニオン東京東部支部
25	郵政労働者ユニオン九州地方本部
26	郵政労働者ユニオン福岡支部
27	郵政労働者ユニオン沖縄支部
28	郵政労働者ユニオン長崎中央支部
29	郵政労働者ユニオン長崎西彼杵支部
30	郵政労働者ユニオン大村支部
31	郵政労働者ユニオン長崎北支部
32	郵政産業労働組合九州地方本部
33	郵政労働者ユニオン東京北西支部
34	郵政労働者ユニオン東京地方本部

【編集後記】 会の準備会からほぼ2ヶ月。全国の仲間の力強い支援を得て、104人の個人会員、34団体組織加盟でスタートできた。月刊誌やネットなどで宣伝を多く取り上げていただいた。感謝申し上げます。季節は春へ。闘いも春へ。（事務局）。